

水稻の穂ばらみ期のかんがい用水確保の強化

～上流ダム群の連携により河川流況改善と
かんがい用水補給を連絡会で連携を図る～

最近の天候が好天続きで各河川の河川流量が低下しており、今後まとまった降雨の見込みがなく早期の河川流量の回復が見込まれないことから、現在以下の対応を行っています。

- 鳴子ダムにおいて、利水調整会議（2回）、土地改良区との意見交換などを実施。
- 8月7日に北上川下流河川事務所及び鳴子ダム管理所において渇水対策支部（注意体制）を設置。
- 同日に「北上川水系（下流）及び鳴瀬川水系渇水情報連絡会」を開催。
- 上記連絡会において、河川の流況や気象情報、ダム貯水状況、かんがい用水等の取水状況などについて関係機関との情報共有を実施。
- 各利水者における適正な取水管理などについて連携強化を図った。

今後のダム運用については、上流にある国、県及び利水ダムが合理的に連携を行い、流況改善と利水補給を行っていきます。
特にかんがいにおいて大切な水稻の穂ばらみ期（8月16日迄）を乗り切ることを目標として以下の対応を行います。

- 当面は流況の厳しい江合川・鳴瀬川筋について次の放流を行うことにより、末沢地点の16.0m³/s、荒雄地点2.0m³/sの流量確保に努める。
- 鳴子ダム（国）では9.0m³/sの放流を行う。
※鳴子ダムの残貯水容量5.425千m³（8月7日9時現在）を穂ばらみ期の10日間（8月16日頃まで）を按分した量と過去35年間の8月の平均最小流入量の4.54m³/sの合計した放流量。
- 岩堂沢ダム（県）では4.0m³/sの放流を行う。
※当期間の最大放流量4.988m³/sの8割相当。
- 両ダムの放流による補給調整は、8月8日10時から8月16日17時までで、降雨無しの状況を前提に行う。

8月7日の渇水情報連絡会においては、農業用水の利水者から、「水稻の穂ばらみ期はかんがい用水が必要となる大切な時期であり、例年、用水の状況は厳しくなるので、このような対応による用水補給についてはお願いしたい。」等の発言がありました。

以上、8月7日に実施した渇水情報連絡会により連絡調整を図るとともに、今後一層利水者との情報共有を図りながら関係機関一体となって渇水対策を進めていくものであります。

この内容は、以下にも掲載します。

北上川下流河川事務所ホームページhttp://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/index_2.html

鳴子ダムホームページ<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/>

発表記者會：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所
石巻市蛇田字新下沼80（Tel. 0225-94-9851 占用調整課直通）
技術副所長 佐藤 伸吾（内線 205）
占用調整課長 瓜生 圭男（内線 341）

国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
大崎市鳴子温泉字岩淵2-8（Tel. 0229-82-2341）
管理所長 松川 正彦（内線 201）
専門職 浅野 隆郎（内線 511）